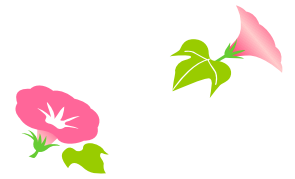




やまゆり



学校教育目標 **大地に根をはり 共に伸びよう 天までとどけ**
HP アドレス www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyabe/

☆欠席連絡は、マチコミメール(朝 8:00 まで)か連絡帳、それ以降は電話でお願いします ☆朝学校に着くのは、8:10~8:20 までの間です
☆登下校は決められた通学路以外使いません ☆帰宅後の外出は5時までです ☆放課後の学校への電話連絡は 18時までをお願いします



上矢部小学校の特別支援教室「すまいるうむ」

校長 梅田 巖



個別支援学級ではなく、一般級においても、特別な支援が必要なお子さんのために授業方法や教材等を工夫して、分かりやすい授業を行うことを目的として、特別支援教室を設置しています。教室の場所は年度当初の各学年の教室配当が決まった後の残った教室を特別支援教室としてきました。児童支援専任から「職員室の近くに設置できるとよいのだけれど・・・」というつぶやきが発端で、昨年の年度途中からこれまでカウンセラールームとして使っていた小さな部屋（職員室の正面）を試行的に特別支援教室として使ってみる

ことになりました。カウンセラールームの機能はB棟2階に移動することになりました。移動後のカウンセラールームは玄関から遠いという不便さがありますが、教職員や保護者等の往来が少ない場所で、かえって落ちついて良いところもあるようです。特別支援教室の方はといえば、手ごろな広さでとても使い勝手が良いようです。メインで担当する児童支援専任の先生の抱えている業務の性質上の職員室への行ったり来たりもスムーズで、今まで以上に子どもへのきめ細かな支援ができるようになりました。さらには、他の先生たちも部屋を覗いては子どもたちにこまめに声を掛けたり、子どもたちも必要に応じて自分で職員室を訪ねたり、とてもよいサイクルが生まれています。

児童支援専任の先生と子どもたちとで、ここの部屋の名前を考えようということになり、「おたすけルーム」や「スマイルルーム」などの候補が上がってきました。最終的にスマイルがいっぱいの「すまいるうむ」と命名されました。次の表示札が部屋の前に掲げられました。先生たちのこの部屋への期待や子どもたちへの想いが込められています。日ごろ鍛えたわたしのおやじギャグも盛り込んでいただいた表示札です。なかなか良いでしょう？



Smile Room

スマイルルーム

すまいるうむ

スマイル生む

住まいルーム